

別添2

日本合成洗剤株式会社／日本石鹼株式会社



事業概要	家庭用・工業用合成洗剤の製造及び販売。 化粧品、医薬部外品の製造及び販売。
所在地	大阪府八尾市跡部南の町2丁目2番4号
電話番号	072-992-4312(代表)
URL	http://www.ng-c.co.jp/
代表者名	西本 義治
設立	昭和36年12月
資本金	48百万円
従業員数	80名
売上高	5019百万円(平成31年3月期)

(1)経営理念又は代表者メッセージ

当社は、創業以来一貫して開発・研究を重視し、たゆみない開発投資を継続しております。家庭用洗剤においては、天然由来原料を生かした低環境負荷洗剤を開発して社会の環境保全に寄与すると共に、化粧品・医薬部外品分野にも進出し、衛生環境の改善に寄与する製品の開発に鋭意努力いたしております。

当社では将来の設計図として、今すぐに事業化に至らずとも、いつでもやれるといった体制を作っておく為に、研究中のテーマを多く抱えております。

又、多品種効率生産技術や高付加価値商品の開発に絶えず努力を傾注する一方で、大量一貫製造設備も充実させると共に、一社では開発困難な製品や新技術に関する共同研究を行う大きな方針も持っております。

チャレンジ精神旺盛な学生さん、是非、当社の将来を担って下さい！



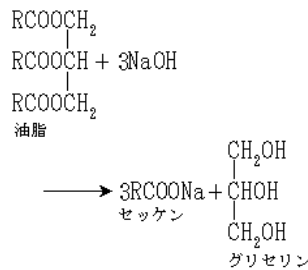
代表取締役社長 西本 義治

(2)技術・製品(事業)の特長

①技術(事業)内容

当社製品の最大の特徴は、洗浄成分である界面活性剤は、極力石油由来の物を避け、植物由来の界面活性剤を使用するという事です。この方針を基に、ISO14001の認証も取得しています。

当社製品は、「洗う」を通じて皆様の暮らしに「清潔」をお届けするが、全ての事業のベースとなっています。そして、「洗う」＝「洗浄剤」＝「界面活性剤」の配合技術が当社の製品技術の元となっています。界面活性剤という物質は、分子内に水になじみやすい部分(親水基)と油になじみやすい部分(親油基・疎水基)を持つ物質です。不潔の元である「汚れ」は通常油の性質を持つ場合が多いです。油と水は通常の状態では混ざりませんので、「汚れ」を水だけで落とそうとしても難しい場合が多いですが、界面活性剤を介在させると通常の状態では混ざりあわない水と油が仲良くなって、「汚れ」を洗い流すことが可能になるのです。この界面活性剤の性質を利用したのが、「洗浄剤」や「洗剤」と呼ばれる製品です。また、化粧品類も油の成分と水を混ざり合わせることによって造られますので、界面活性剤を利用した事業の一つです。当社の技術はこの界面活性剤を如何に上手く利用するのかということがベースとなります。ここで一つの例として、「石鹼」と呼ばれる日用品について説明します。石鹼も界面活性剤の一種で、原料は油脂とアルカリです。石鹼に使われる原料の油脂は、現在はココヤシやパームヤシの油が使われることが多いです。アルカリは、一般に苛性ソーダや苛性カリと呼ばれるものです。これら油脂とアルカリをケン化(鹼化)と呼ばれる反応により、水に溶けない油である油脂が水に良くなじむ石鹼になるのです。



②技術の用途と機能

上記左側のRは油脂の炭素鎖(CH₃-CH₂-CH₂...)で油の分子になります。右側のCOONaが親水基で水となじみやすい分子です。このように同じ分子内に親油基と親水基があるのが界面活性剤です。

洗剤や化粧品はこの界面活性剤の性質を如何に上手く利用して、求める性能を得るかが配合技術のポイントとなります。

③特徴・強み

当社は創業以来一貫して、界面活性剤を利用した製品の研究開発を日夜行っています。当社の製品は、暮らしに大変身近なものですが、化学の力を利用して暮らしの清潔を向上させる技術と言えます。

